

【荃崎地区活動レポート】 12/4 (土) みかん狩り

令和3年12月4日(土)、桜川市真壁町 酒寄みかん園(ひかり農園)において



快晴に恵まれて絶好のみかん狩り日和、参加者14名、4台の車に分乗して当初予定していたみかん園に到着したら、11月末で閉店とのことで、急遽、隣のみかん園に会場を変更しました。

酒寄みかん園の案内チラシには「10月から12月上旬」となっていましたが、例年、12月にはみかん狩りができるほどの量がなくて閉園になるのだと、地元農家との雑談からわかり、いい勉強になりました。

なるほど、ほとんどのみかん園が閉園になっていました。



いざ、みかん狩りが始まったら童心に帰り、急坂の段々畑をものともせず、行ったり来たりして、あちらこちらでちぎっては頬張り、みかんの味を楽しみました。大きいみかんより、少し小さめが甘くて美味しかったとの感想でした。

天気もよく、話にも弾みがつき、時間を忘れてみかん園で楽しいひと時を過ごしました。年末年始のみかんを格安で買い込み、みかん狩りが無事、終了です。

コロナ禍で出かける機会もなくなり、久しぶりのアウトドアのレクリエーションで、会員様の笑顔が印象的でした。またの機会に、元気にお会いしましょう。

【記：村野四郎】

【荃崎地区活動レポート】

11/27（土）高崎自然の森でリクリエーション

荃崎地区は、令和3年11月27日、紅葉やや過ぎた高崎自然の森公園で、密に煩わされることもなく、清涼の好天の中、23名の参加を得て英気を養いました。

初めに輪投げ大会、「むつかしい」の連発で大騒ぎ。そして、「筑波山ガマの油売り



口上研究会」の皆さんによる「おかめひょっとこ踊り」、「ガマの油売り口上」、「南京玉すだれ」を1時間余り、見事な芸に引き込まれ、浸りきることができました。公園に来ていた外部の10数名の方も一緒に観覧です。格別の弁当をいただいて無事に散会。関係者の皆さんお疲れ様でした。





研究会の皆さんも、コロナ禍の影響で開催中止になることも多く、こうして芸を披露できるのは久方ぶりとか。「また呼んでいただきたい」とお話しされていました。

○「筑波山ガマの油売り口上研究会」の連絡先

代表：市村文子／田 118／090-9332-3579



【荃崎地区活動レポート】

11/6(月) 障子と襖の張り替え勉強会



11月6日、荃崎老人福祉センターにおいて、冬の訪れを感じさせる弱い北風がときおり通りぬける空模様のなか、障子と襖張り替え勉強会が始まりました。

講師は例年通り、寺田さん、渋谷さんをお願いして今年も多忙のなか時間を割いていただきました。例年、障子張り替えのリクエストが多いところですが、襖の持ち込みも多くあり、充実した取り組みになりました。襖の張り替えは障子に比較すると作業工程が複雑で、素人には初めての作業で、いい勉強になりました。

今年は桜地区会員の参加があり、休憩時間の話題として、オリンピック、最近のコロナ、大谷翔平、最後に健康のことなどで交流が盛り上がり、あっという間の時間でした。

今後も機会があれば、参加していただきたいと思います。



【文責：村野四郎さん】

【荃崎地区活動レポート】9/11(土) アダプト・ア・パーク



令和3年9月11日(土)9時、緊急事態宣言のさなか、公園清掃に取り組むボランティア活動を行いました。コロナ禍での敬遠を心配しましたが、初参加5名を数え、15名(男性10、女性5)の参加がありました。



当初は、公園清掃終了後、広々とした高崎自然の森公園で、地区レクリエーションとして輪投げと、同好会による「がまの油売り口上及び南京玉すだれ」の演芸、ランチ会など、会員交流を深める予定でしたが、激増のコロナ禍を無視できず、地区レクリエーションを別途再計画として延期せざるを得ませんでした。

全員体温正常を確認、そしてワクチン接種状況を聞いたところ、15名全員2回完了でした。清掃活動を通して久しぶりの会話(マスク越し、小さな声)で、お互いに安堵感を感じている様子でした。

一日も早い本来の日常を願い、地域との共生を感じつつ清掃終了しました。



【文責：荃崎地区長 村野四郎】

【荃崎地区レポート】3/24(水)朝日峠展望公園ハイキング



絶好の好天に恵まれ、2分咲きの桜を愛でながら令和3年3月24日、標高302mの朝日峠ハイキング。小町の館から5分ほどで登山入り口に到着、自由に使える杖が置いてあり、各自、好みを選択して登山開始。



心地よい風を受け、落ち葉を踏みしめ鳥のさえずり、水のせせらぎなど天然の音に心を癒されながら、足取りが軽い。



30分ほど進むと木道が見えてきて、もみじ谷の看板があった。立派なもみじが幾重にも重なっており圧巻でした。新緑もいいけど、紅葉はまた、格別かも？

低い山にもかかわらず、頂上は広々と空間が広がり、霞ヶ浦をはじめ関東平野、そして筑波山に連なる山々の展望を満喫することができました。



下山後は小町の館でお蕎麦をいただきました。おいしかった！

女性2名、男性7名、内1名は桜地区からの参加を得て交流を深め、ほどよい加減のハイキングでした。

【文責：荃崎地区長 村野四郎さん】

【荃崎地区活動レポート】 新規会員様との懇談会開催について

荃崎地区地区長 村野四郎

開催日時 令和3年2月11日（木）建国記念の日 12時～13時30分
場 所 牛久市レストラン、清瀧
参加者 新規会員6名（内女性3名）（令和元年～2年に入会の新規会員）
執行部5名

《懇談内容》

コロナ禍の影響で荃崎交流センターの開館状態が不安定で、直前に開催場所及び時間を変更した影響もあり、参加者が6名で少なくなりましたが、忌憚のない意見交換ができて有意義な時間が過ごせました。

代表的な意見交換（感想）として

- (1) 退職後、無職で2年過ごしたが近所の知り合いから、つくば市シルバー人材センターの存在を教えてもらった。仕事をやることで、生活にメリハリができた。
- (2) 現在の仕事を通じて荃崎地区会員と交流が深まり、話の機会が増えてきた。
- (3) 現在は自分で探した仕事をしているが、「事務局だより」に掲載されている就業案内で適職があったら、早速、応募したい。
- (4) つくば市シルバー会員として仕事もさることながら、地域に貢献する物づくり、このような会員交流会などで繋がりが広がるのはうれしいことです。

など意見交換ができました。その他、日常の家庭騒動、野菜作り、趣味のことなど賑やかに終始しました。

最後に1月24日茨城新聞の記事（女性会員拡大に力）を紹介し、つくば市シルバー人材センターとして、女性会員拡大の課題に取り組んでいることを説明し、今後の活動をお願い致しました。



開会に先立ち挨拶する村野地区長



食事をしながらの懇談の様子

2021年2月

コロナ禍で最初は開催も危ぶまれましたが、間隔をとり、アクリル板を意識して、大声を慎むなど参加者各位のご協力を得て、無事終了することができました。



新規会員6名と役員5名の皆さん